

人権問題に関する市民意識調査

報告書

(第11次)

令和8年3月

北九州市

～はじめに～

北九州市では、「北九州市人権行政指針」をもとに、すべての市民の人権の尊重に向けて、市民一人ひとりが日常生活の中で人権を尊重することが当たり前の行動として、自然に現すことができるまちを目指し、「人権文化のまちづくり」を推進しています。

また、北九州市の基本構想・基本計画である「北九州市・新ビジョン」においても、その重点戦略の1つ「『安らぐまち』の実現」に向けて、人権教育や人権啓発、ジェンダー平等社会の構築、多文化共生の理解促進などに取り組むこととしています。

国においても、令和7年6月、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」に基づき、社会経済情勢や国際的潮流の動向を踏まえ、各種人権課題の解決に向けた施策の更なる推進を図るため、「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」を策定しました。

北九州市が目指す「人権文化のまちづくり」は、行政のみで実現できるものではなく、市民の皆様の主体的な行動や取り組みと連携してこそ実現できるものです。そのため、市民の皆様の人権に関する意識を把握し、今後の人権行政をより一層推進していく上での資料とするため、令和7年9月に「人権問題に関する市民意識調査(第11次)」を実施しました。本書は、この調査結果をまとめたものです。

今後、この調査結果をふまえ、より効果的な人権行政を実施し、「人権文化のまちづくり」を一層推進してまいります。

最後になりましたが、この調査の実施にあたりまして、ご協力いただきました市民の皆様および関係者の皆様に心より厚くお礼申し上げます。

令和8年3月 北九州市

～目 次～

第1章 調査概要と基本属性	1
① 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の沿革	1
3. 調査の実施	2
4. 回収の結果	2
5. 調査結果を読む際の留意点	3
6. 報告書の構成について	3
② 対象者の基本属性	4
1. 性別構成比	4
2. 年齢別構成比	4
3. 居住年数別構成比	5
4. 居住地区別構成比	6
第2章 調査結果の概要	7
① 人権全般について	7
1. 人権問題への関心度	7
2. 市民の人権意識の高まりについての評価	9
3. 関心のある人権問題	12
4. 人権侵害された内容	15
5. 人権に関する法律の認知状況	18
② 女性の人権について	29
1. 女性の人権が尊重されていないと思うこと	29
2. 女性の人権を守るために必要だと思うこと	33
③ 子どもの人権について	35
1. 子どもの人権が尊重されていないと思うこと	35
2. 子どもの人権を守るために必要だと思うこと	38
④ 高齢者の人権について	40
1. 高齢者の人権が尊重されていないと思うこと	40
2. 高齢者の人権を守るために必要だと思うこと	43

5	障害のある人の人権について	45
1.	障害のある人の人権が尊重されていないと思うこと	45
2.	障害のある人の人権を守るために必要だと思うこと	48
6	同和問題(部落差別)について	50
1.	同和問題(部落差別)を初めて知った経緯	50
2.	同和問題(部落差別)に対する意識	52
3.	同和問題(部落差別)に関して人権が尊重されていないと思うこと	59
4.	同和問題(部落差別)の解決に対する考え	62
5.	同和問題(部落差別)の解決に必要なだと思うこと	65
7	日本に居住する外国人の人権について	67
1.	日本に居住する外国人に関して人権が尊重されていないと思うこと	67
2.	日本に居住する外国人の人権に関する考え	70
3.	日本に居住する外国人の人権を守るために必要だと思うこと	73
8	インターネット上やSNSによる人権侵害について	75
1.	インターネット上やSNSに関して人権が尊重されていないと思うこと	75
2.	インターネット上やSNSに関して人権を守るために必要だと思うこと	78
9	性的マイノリティの人権について	80
1.	性的マイノリティの人権が尊重されていないと思うこと	80
2.	市が実施している性的マイノリティの支援策「パートナーシップ宣誓制度」の認知度	83
3.	性的マイノリティの人権を守るために必要だと思うこと	86
10	人権に関する学習や情報について	88
1.	市が行っている人権に関する啓発活動の認知状況	88
2.	市が行っている人権に関する啓発活動の認知経路	91
3.	市が行っている人権に関する啓発活動への参加経験	94
4.	「人権文化のまちづくり」の推進に必要な取り組み	97
5.	関心のある啓発活動	99
第3章	調査結果の経年変化	101
1	はじめに	101
1.	対象者の基本属性について	101

② 人権全般について	102
1. 人権問題への関心度	102
2. 関心のある人権問題	102
3. 人権侵害された内容	104
4. 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)の認知状況	106
5. 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律 (ヘイトスピーチ解消法)の認知状況	106
6. 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)の認知状況	106
③ 女性の人権について	107
1. 女性の人権が尊重されていないと思うこと	107
2. 女性の人権を守るために必要だと思うこと	108
④ 子どもの人権について	109
1. 子どもの人権が尊重されていないと思うこと	109
2. 子どもの人権を守るために必要だと思うこと	110
⑤ 高齢者の人権について	111
1. 高齢者の人権が尊重されていないと思うこと	111
2. 高齢者の人権を守るために必要だと思うこと	112
⑥ 障害のある人の人権について	113
1. 障害のある人の人権が尊重されていないと思うこと	113
2. 障害のある人の人権を守るために必要だと思うこと	114
⑦ 同和問題(部落差別)について	115
1. 同和問題(部落差別)を初めて知った経緯	115
2. 同和問題(部落差別)に関して人権が尊重されていないと思うこと	115
3. 同和問題(部落差別)の解決に対する考え	116
⑧ 日本に居住する外国人の人権について	117
1. 日本に居住する外国人の人権に関する考え	117
2. 日本に居住する外国人の人権を守るために必要だと思うこと	118

9	インターネット上やSNSによる人権侵害について	119
1.	インターネット上やSNSに関して人権が尊重されていないと思うこと	119
10	性的マイノリティの人権について	120
1.	性的マイノリティの人権が尊重されていないと思うこと	120
2.	市が実施している性的マイノリティの支援策「パートナーシップ宣誓制度」の認知度	121
3.	性的マイノリティの人権を守るために必要だと思うこと	122
11	人権に関する学習や情報について	123
1.	市が行っている人権に関する啓発活動の認知状況	123
2.	市が行っている人権に関する啓発活動の認知経路	124
3.	「人権文化のまちづくり」の推進に必要な取り組み	125
第4章	市民の意識と行動に関する分析	126
1	人権問題・差別問題への関心	126
1.	社会的要因	126
2.	個人的要因	127
3.	人権侵害経験の影響	128
2	関心のある問題と人権意識	129
1.	関心のある人権問題	129
2.	関心のある人権問題の類型化	131
3.	人権意識と関心のある人権問題	132
4.	人権意識の変化と関心のある人権問題	133
3	主要法制度の認知状況	134
1.	人権問題・差別問題への関心との関係	134
2.	男女別・年代別の認知状況	135
3.	人権問題への関心項目数との関係	136
4	属性別の人権問題と対応方策	137
1.	女性の人権問題と対応方策	137
2.	子どもの人権問題と対応方策	138
3.	高齢者の人権問題と対応方策	140
4.	障害のある人の人権問題と対応方策	141

[5] 分野別の人権問題とその対応方策	142
1. 同和問題(部落差別)に対する意識	142
2. 同和問題(部落差別)の認知経路と対応方策	149
3. 同和問題(部落差別)と対応方策	152
4. 在住外国人の人権問題と対応方策	156
5. インターネット上やSNSによる人権問題と対応方策	157
6. 性的マイノリティの人権問題と対応方策	158
7. 北九州市パートナーシップ宣誓制度	159
[6] 啓発活動に関する認知と参加の状況	162
1. 啓発活動の認知状況と参加・体験状況	162
2. 人権啓発活動に関する情報入手手段	163
3. 年代別の情報入手手段	164
4. 情報入手手段の類型別検討	165
5. 人権問題・差別問題への関心度と情報入手手段	167
第5章 まとめ	169
1. 人権全般について	169
2. 人権にかかわる問題	169
3. 人権に関する学習や情報について	173
4. 人権意識・差別意識の変化	174
5. 主要法制度の認知状況と取り組み意識	174
6. 人権に関する啓発活動	174
付録【集計表】	175
参考資料【調査票】	213